

# 第12回 AIT テクノサロン

## 東海地区の新産業基盤

### ～ライフサイエンス研究拠点を目指して～

主催：愛知工業大学 総合技術研究所 社会連携室

協賛：(株)大垣共立銀行、豊田信用金庫、(株)名古屋銀行

**参加費  
無料**

AITテクノサロンは、愛知工業大学教員の研究にご関心のある方々に、  
本学教員の研究成果・シーズについて話題提供し、地域の方々との交流の場を提供するものです。  
今回は本学工学部応用化学科の3名の教員が話題提供いたします。奮ってのご参加をお待ちいたします。

日時

**2019年7月19日(金) 午後3時～6時**

場所

**愛知工業大学 総合技術研究所 視聴覚室**  
豊田市八草町八千草1247

15:00～ **「微生物ホルモンによる細菌の有用物質生産と病原性発現、免疫誘導の制御」**

応用化学科 教授 **飯島 信司**

微生物を用いた抗生物質やアミノ酸などの有用物質の生産は日本のお家芸と言われ、自然界からの有用な微生物の分離と酵素合成や発酵生産における利用は、現在でもバイオテクノロジーの中心技術の一つです。一方、自然界に存在する微生物について、ホルモン様物質が存在し、その生活環や存在形態、物質生産性、病原性などに大きな影響を与えていることが近年明らかになってきました。我々はこのようなホルモンのひとつである環状グアニル酸について研究していますが、その産業的応用の可能性について紹介します。



15:40～ **「ドラッグデリバリーシステムを利用したがんワクチンの開発」**

応用化学科 助教 **宮本 寛子**

がんワクチンとは、がん抗原と免疫増強剤(アジュバント)を用いて自己の免疫力を上手くコントロールし、がん細胞を排除するがんの治療方法で特に注目されている免疫療法の一つです。従来のがんの3大療法(化学療法、放射線療法、外科療法)よりもはるかに副作用を軽減できる治療方法として開発が期待されています。



16:20～ **「難治性疾患の画期的治療法を目指したRNA医薬の開発」**

応用化学科 教授 **北出 幸夫**

生体内に存在し、がん抑制遺伝子として機能する比較的小さな二本鎖核酸であるマイクロRNA(miRNA)を、化学的アプローチから研究しています。miRNAは、抗体医薬に続く新たな次世代医薬として注目を浴びています。本講演では、miRNA医薬開発への取り組みを紹介します。



17:10～ 講演終了後、軽食と飲み物をとりながらの交流サロンを行います。ご自由にご参加ください。

● **申込締切**：7月11日(木)までに、氏名・所属を下記のFAXまたはメールでお知らせください。定員50名

● **申込・問合せ先**：愛知工業大学 総合技術研究所 社会連携室

電話：0565-48-8121(内線 1400) FAX：0565-48-4640

電子メール：so-ken@aitech.ac.jp

ご案内  
申込み

